

# きらめき亀山21 かめさん

きらめき亀山21 広報部  
amani@helen.ocn.ne.jp

第3号

2001年6月21日発行

## 坂本地区 棚田野上がりまつり

6月3日(日) 坂本農村公園にて梅雨の中休みの晴天のなか棚田野上がりまつりが開催されました。

小学生を含め約1500人も参加者でにぎわいました。

昔ながらの臼と杵でついた餅や里山のパンケーキ、地元で生産されたお茶や竹墨なども販売され大盛況でした。

田植えが無事に終わった事を皆で祝い労うこのまつり、これからも伝えられるといいですね。



### 星合棚田保存会会長よりの報告

たくさんの方々の集まりで、棚田への関心の大きさに感動しました。餅つきも予定より多い(杵つきは)5臼つき、非常に疲れましたが、ボランティア、きらめき亀山21、行政等の方々のご協力に感謝します。地元としてはこのようなイベントに今後もできるだけ対応していきたいと考えます。



## 5月定例全体交流会にて

まとめ：

- ・いろいろな人が、いろいろな提案をしてもらえる場に行きたい。
- ・初めて参加された方の意見を聴けるようにしたい。
- ・活動を総括する場として、1月21日のような機会を設けたい。

参加者の提案；

- ・今年は、それぞれの分科会活動を通して、共通テーマ「ボランティア」について考える年とする。
  - ・1年後に報告会の場を設ける。
  - ・8月頃に、勉強会を企画したい。
- テーマの提案、講師の紹介をお願いします。

### 企画スタッフからの提案：

- ・「ボランティア」を共通テーマとして、各分科会活動を推進する。
  - ・1年間の活動経過報告をする機会を設ける。今年1月21日まちづくり市民交流会のような。
- 参加者からの意見；
- ・汗をかいた活動結果を報告する場は必要。
  - ・一年間の活動を集大成する場として、市民交流会を設ける。
  - ・9つのテーマ(分科会)にとらわれないで、意見を云える場が欲しい。
  - ・結果・成果が出ない場合については、活動の経過を報告することに意義がある。
  - ・継続する姿勢が大事。第2回を開催することで、「きらめき亀山21」そのものを考える機会になる。

### 広報スタッフからのお知らせ

- ・「きらめき亀山21」の活動をより広く知ってもらう一つとして、メンバーの名刺を制作します。作り方等はスタッフにご連絡を。
- ・「きらめき亀山21」の趣旨・分科会の活動内容などを広く知って もらう道具としてPRパンフレットを制作します。分科会を紹介するための内容を、20文字以内にとまとめて、中野までご連絡ください。

目次：

坂本棚田野あがりまつり	1
商店街を考える分科会	2
町並み保存分科会	2
バリアフリー分科会 国際交流分科会	3
こども分科会	3
障害児(者)の 地域支援を考える 公開討論会	
鈴鹿川のアユを考える 研究会	4
“じばさん三重” 公開ゼミ	4

「野上がり祭り」で好評!  
お家で作る「里山パンケーキ」

1. 材料(2枚分)  
薄力粉.....20g  
ホットケーキミックス.....20g  
卵(MかLサイズ)1.5  
無塩バター...24g 砂糖...20g  
アーモンド...少量 干葡萄...少量  
ナッツや干果実でも可  
アルミホイール丸皿(16cm)2枚

2. 作り方  
卵を割り泡立て器でかき混ぜる。  
砂糖を溶かし、バターを加えよく混ぜる。バターは溶け難いので、バターナイフなどで5ミリ厚さぐらいに削り出すようにして加える。細かくして混ぜる。  
粉を加えて、さっくりと混ぜ合わせる。決して練らないこと。  
おたまに軽く一杯すくって、オイルを塗った丸皿に空け、上にナッツなどをふりかける。  
トーストを焼く条件に設定したオーブンに入れて焼く。  
焼き足りないときは2度焼きする。面に焼き模様が入ったら取り出す。



### 亀山いいとこさがし

御所平から眺める仙ヶ岳は鈴鹿でも最高の眺めといわれます。脚力に自信のある方向きです。

## 市民参画で商店街の活性化！ <商店街を考える分科会>

6月6日の夜、「商店街を考える」分科会に参加。会場は、総合保健福祉センター「あいあい」の1Fサロン。吹き抜けの高い天井、広々とした空間、テーブル上にはガラスポットに花が飾られ、議論の場でありながらとても癒されました。予約なしで、気軽に使えるのが良い。

復活させたい祭が沢山あって、商店街というステージでこれからやってみたいことが次々と挙げられ、実現できそうな気がして、とても心がはしゃいでしまいました。

市民が単なるお客さんになって商店街を活性化するのではなく、商店街が訪れる人を活用し、みんなが元気になる企画で遊びたいですね。

私的には、ふれあい広場の竹藪を取っ払った後に見えるであろう素晴らしい景観をバックに生ビールを飲みたい、と切に思うのであります。こんなささやかな一市民の願いなんて、簡単にかないますよね？

商店街の過去の経過とても興味深いものがありました。その昔、葛葉太鼓とジャズトランペットの競演に青年（現在27歳）が当時子ども心に胸奮わせたこと、東町商店街を市民に混じって多くの市会議員も仮装行列に参加した話、全国の太鼓を集めた太鼓祭・・・。

## 納涼会に商店街を七夕で飾ろう！ <6/15 商店街を考える分科会>

亀山市納涼会に合わせて、商店街を七夕で飾ることを企画。

幼稚園児・小中学生・高校一般市民・商店の人たちが一緒になって七夕飾り作りに協力。道行く人に街の賑わいに参加してもらい、商店街に活気を

呼び戻す。

<納涼大会：8/4（土）～8/5（日）>

私たちと一緒に準備に参加いただける皆様は7月4日（水）19:30からの打ち合わせ会に是非来てください！



商店街を七夕で飾る企画が急遽浮上（6月19日市民活動コーナーにて）

## 町並み探訪 ～大手門より京口門まで～ <町並み保存分科会>

6月3日の日曜日の午後、東海道の一部である大手門より京口門まで、ウォッチングをしながら歩きました。

江戸時代の屋号や間口などがかけられている図面をもとに、そのころと同じ屋号のお店を発見したり、又何代もひとが変わっていて、昔の屋号も商売もたずねてもわからなかったりして、江戸時代から現在までの栄華盛衰を見る思いがしました。

昔の屋号をそのまま掲げて商売をつづけているということはすごいことです。又、築180年のお家の蔵の瓦の菊のご紋に関心したり、日野屋さんという醤油屋さんはもとは滋賀県から移ってきていたという、お話を聞いたり、興味は尽きることなくおもしろい半日でありました。

また、残しておきたい家屋、町並みなどもしっかりチェックして、最後に照光寺さんにて面白いものを発見。亀の字が入った瓦です。



館逸雄さん宅の見事な蔵



**お宝発見!!**



## 第5回バリアフリー分科会(6/12)

今回の分科会は、前回の総合保健福祉センター見学時のビデオを観て、センター内の良い点、問題点などの意見、感想を出し合いました。また、前回から引き続き、「今後センターの温泉に障害者も入れないか？」という課題も「障害者の入浴日を作れないものか?」「どういった補助具があれば障害者が入浴しやすくなるのか?」などについて具体的な話し合い

がありました。

その他には、身体障害だと、車いす、アイマスクと言ったようなものを使えば疑似体験ができるが、知的障害・精神障害などは、具体的にどこが障害なのかわかりにくく、一般の人にわかってもらいにくいから今後、どのようにPRしていくべきなのか?といったような話し合いをしました。



あいあいの研修室でのバリアフリー分科会  
プロジェクタやビデオ設備も完備。

## 国際交流の会 分科会(6/6)

第5回 国際交流分科会は6月6日あいあい2F会議室で行ないました。

6月2日に河芸町国際交流協会を訪問し活動状況と運営方法について説明を受け、亀山国際交流の会も早めに会則を整備する必要があり活動内容についても、亀山の特性をよく考え、検討する必要があると感じました。

秋の生涯学習フェスティバルに企画段階から、外国の方にも参加してもらうよう働きかける参加します。

納涼会に合わせ、希望者があれば日本語学校の生徒に浴衣の着付けを教へ、日本の伝統文化を紹介します。

日本語学校の状況について、参加者が大変多く盛大ですが、託児を必要とする子供が多く、託児ボランティアグループに依頼したが、月1度が限度とのこと。今後さらに託児について、国際交流のメンバーの協力が必要です。積極的に託児をお願いできる人を探しています。

## 21世紀を明るい未来に <<障害児・者の地域支援を考える>>

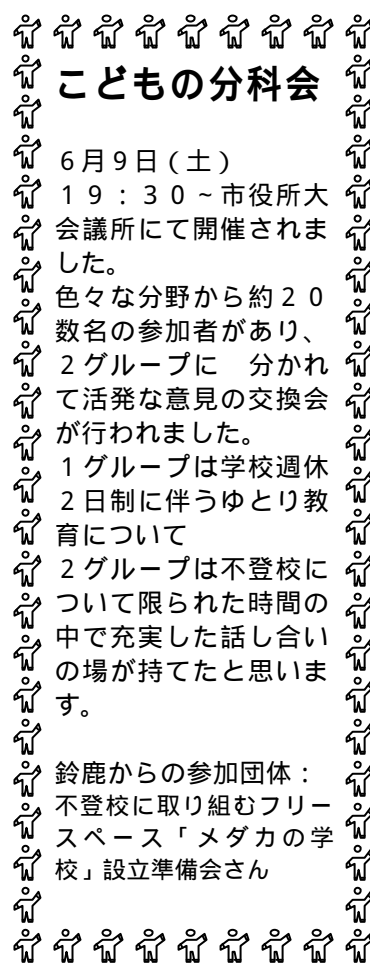
6月3日、「あいあい」で「ひまわりの会」主催の<障害者(児)の地域支援を考える>公開座談会がありました。

パネラーの方々は、いずれも長く障害児教育に携わってこられ、その話には経験に裏付けられた重みがありました。

司会の井上良純先生(三重県知的障害者福祉センターはばたき主幹)は、冒頭で、障害者問題は障害の種類程度により様々でとても今回だけで結論を出すことはできない、と述べられました。この重い問題を、地域全体で共に考えるために、今回の公開座談会が行なわれた意義があると感じました。

先生が、「障害者が障害者であるのは障害があることでなく社会が障害を作っている事である」と言われ、障害者が幼いときから周囲の愛を受け、その満たされた環境で育てられれば、社会に出てからも安定した情緒を持ち、幸せな生涯をおくることできる、という言葉が印象に残りました。

社会には、できる人もできない人もいろんな人がいて、お互いに補い合うこと、そんな社会を目指し困難にめげず、親子とも強く生きている皆さんに明日は今日より、より良き日々を送れるように、「きらめき亀山21」も活動してゆきたいです。



## こどもの分科会

6月9日(土)

19:30~市役所大会議所にて開催されました。

色々な分野から約20数名の参加者があり、2グループに分かれて活発な意見の交換会が行われました。

1グループは学校週休2日制に伴うゆとり教育について

2グループは不登校について限られた時間の中で充実した話し合いの場が持てたと思います。

鈴鹿からの参加団体:  
不登校に取り組むフリースペース「メダカの学校」設立準備会さん



パネラー: 松原恵理子、石川和代、  
松岡悦子、島崎真子  
コーディネーター:  
井上良純

以上の諸先生

## ちょっといいところ発見



### 亀山公園から市の水源の山々を望む

何気なく市内を散策していて亀山公園の西端、巨大ローラー滑り台の上から鈴鹿の山々を一望しました。

あの山々こそ亀山の水源なのです。北は仙ヶ岳、南は加太の錫杖ヶ岳北面に至る実に広大な集水面積です。

稜線は20 Km近くに及び実に市境の仙ヶ岳から鈴鹿市、四日市市を越え大安町の竜ヶ岳に匹敵します。ここに降った雨はやがて鈴鹿川と安楽川の流れとなりわが街を潤します。

この恵まれたふるさとの山々をこれからも大切にしたいといつまでも眺めていました。(K・I)

### “じばさん三重”のゼミナールに「きらめき亀山21」登場

6月8日、四日市の“じばさん三重”で開催された「三重21世紀ゼミナール」で、「きらめき亀山21」の活動状況が岩間政人さんと応援講師に出席した近藤さん、中浦さんから紹介されました。

四日市の商店街も、以前の活気を失い、これからどうしたらよいか模索しているとのことでした。

「きらめき亀山21」はまだ産声をあげたばかりですが、問題への対処を、単に行政に要求するだけの従来の枠から脱却し、市民として行動し行政と協働することで、自ら住みやすい地域を創り出すことに、皆で智恵と力を出し合っていることを強調しました。

## 鈴鹿川の



## を考える研究会

開催日時：7月3日(火)  
19:30~

場所：亀山市総合保健福祉センター2F研修室  
「きらめき亀山21」亀山の自然環境を考える分科会「鈴鹿川のアユを考える研究会」

**あなたはおぼえていますか？  
昔、魚がいた川を！**

## 今後のきらめき亀山21の予定行事

日時	内容	場所
2001/6/23(土) 13:30~	ボランティア国際 年企画会議	三重県鈴鹿庁舎
2001/7/3(火) 19:30~	鈴鹿川のアユを 考える研究会	あいあい2F 研修室
2001/7/4(水) 19:30~	商店街を七夕で 飾ろう準備会議	あいあい2F 研修室
2001/7/6(金) 19:30~	町並み保存分科会	市役所3F
2001/7/10(火) 18:30~	バリアフリー分科 会	あいあい2F 研修室
2001/7/11(水) 19:30~	国際交流の会分科 会	市役所3F 理事者控室
2001/7/15(日) 19:30~	企画・広報 リーダー会議	市役所3F
2001/7/21 18:30~	生涯学習	市役所3F
2001/7/21 19:30~	全体交流会	市役所3F